

立山工業株式会社

部品加工、治具・刃物等の製作
から省力化設備までお任せ

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン見積
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

業務内容

部品加工や治具内製と
加工工程のシステム構築

立山工業の業務のメインは、アルミの部品加工で、自動車・半導体・通信機器から実装機等、幅広い業界に対応している。「時には図面がなく製品だけをもち込んで相談されるケースもある」と長岡社長が話す通り、加工そして治具の駆け込み寺的な存在だ。

同社は、治具の製造、金型手配、ロボットによる省力化、製造ラインのシステム構築まで手掛けているため加工納期が短い。治具なら1週間で納期可能という。また、それらを他社に提案することで、他社の品質や生産効率の向上にも貢献。一方で治具の工夫、一体型刃物での加工、工程でのヒューマンエラーを防ぐ安全装置等、独自の技術を保有。部品1個から加工工程のシステム構築まで対応可能だ。

強み

技術力をもとにした提案力で
要望以上の仕上がり

複雑な加工には高い技術力が必要だが、同社では大阪テクノマスター認定者を始め、多数の国家技能検定合格者を輩出している。「技術力の底上げが高精度の製品づくりにつながる」との考えから、単純な作業はアルバイトに任せ、正社員は重要なポイントだけに携わり、空いた時間で技術レベルの向上に取り組んでいる。

人材育成は年間計画表にもとづき、職業訓練指導員の免許取得者が指導にあたる。また改善提案は多い月では50件も出される等、より良い製品づくりに集中できる管理システムができてい

るため、顧客の求める以上の提案が可能になる。その評判を聞きつけた新規顧客からの依頼も多いという。

システム提案

高効率化を実現する
ロボットラインの提案

同社の提案力が発揮されているのが、ロボットラインの構築だ。現在、社内では6台のM/Cマシンを1台のロボットで連結し、部品の加工、切削、精度出しから検査まで一貫してこなしている。高精度の製品が短時間で完成するのが強みだ。

さらにこのノウハウを活かし、顧客の現場でのロボットシステムの提案や設計にも取り組む。多彩な設備を使いこなせる社員の高い技術力と、現状に満足せずに改良を積み上げてきた結果が集約されたシステムに自信を持っている。



製造ラインで活躍する
専用ロボット

今後の展望

高精度・短納期・低価格
便利な加工屋さんを目指す

「大量生産は海外に移行しても、日本は高精度・難加工のものづくりにこだわらざるべき」と考える長岡社長。今後はさらに付加価値の高い製品づくりを目指したいと語る。「難易度の高い部品加工や治具製作、治具をセットした専用機等、現場で役立つ会社でありたい」。そのための研究に力を入れていく。

COMPANY PROFILE

立山工業株式会社

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

創業当初から精度にこだわった部品加工に注力してきました。その成果が認められて、大手家電メーカーの部品加工や実装機を手掛けるように。今までに扱った部品の種類は数えきれません。アルミの切削加工では、品質、コスト、スピードのどれを取っても他社には負けないと思っています。これからも部品加工をベースに、お客様の奥深いご要望にお応えしていきます。

人が幸せになるために自社でできることに全力を尽くす。そのために果敢に挑戦したい。

代表取締役社長 長岡 義継さん



■主な事業内容

精密部品加工・超硬工具・ダイヤ工具・加工治具・検査治具・専用機・省力化設備ラインの設計・製造・販売等

■主な取引先(納入先)

半導体製造装置メーカー、自動車部品メーカー、油圧機器メーカー等

住所/〒547-0002

大阪市平野区加美東
3-4-8

TEL / 06-6791-0444

FAX / 06-6792-6023

創業/昭和34年

設立/昭和35年11月

資本金/1,000万円

従業員/40名

<http://www.tateyamakogyo.com/>